

4 学校教育計画

項目		目標・方針及び計画	
(1)	学習活動 重点1	目標	- 生徒の進路志望の実現や学力の伸長を図る教育課程を編成する。 <u>基礎学力を定着させ、資格取得や進路実現への意欲をいっそう喚起する教科指導の改善を図る。</u>
		計画	- 各学科の特色を発揮できる教育課程編成について検討し、改善を行う。また、学校設定科目を有効に活用し、本校生徒の実態に適切に対応する。 - ICT 機器や教育クラウドサービスの効果的な活用や互見授業、授業アンケート等を通して、学力を効果的に伸長する指導方法を検討し実践する。
(2)	学校生活 重点2	目標	<u>品位ある服装や態度を身に付け、望ましい生活習慣を確立するとともに、自主自律の精神や社会の一員としての自覚を育成する。</u> - 公共心を持ち、集団生活のルールを尊重できる生徒の育成や他者を思いやり、支え合う関係を築く力を養う。
		計画	- 挨拶や時間管理、身だしなみなどの指導に継続的に取り組み、望ましい学びと生活習慣の確立を支援する。 - 集会や諸行事において、命の大切さを伝え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上及びスマートフォン等の情報モラルの心がけを促し、事故防止に努める。
(3)	進路支援 重点3	目標	<u>生徒の進路に関する意識や学習に取り組む意欲を高め、一人一人の生徒の進路目標を実現する。</u>
		計画	- 進路講演会や進路ガイダンス、「総合的な探究の時間」やホームルームで行う進路学習等を通して、具体的に考える機会を設定する。 「先輩の体験を聞く会」や高大連携等を活用し、進路目標設定の啓発の場や機会を設定する。 - 学習の記録や手帳を活用し、生徒の家庭学習の実態把握に努める。 - 進路目標実現に向けて、生徒との面談を担当を中心に学年・学科・進路指導部が連携して行い、その情報を共有して指導に反映するよう計画する。 - 保護者との連携を図るために、講演会や学年懇談会への出席を促し、本校の進路指導に対する理解を求める。 - 大学入学共通テストを含めた入試制度改革の研究の充実を図る。
(4)	特別活動 重点4	目標	<u>部活動の活性化を図る。</u> <u>ホームルーム活動、部活動などを通して自主的、実践的な態度を育成する。</u>
		計画	- ホームルーム活動、部活動を活発化し、様々な集団での所属感や連帯感を高め、集団の中で個を高められるよう援助する。 - 生徒会活動や体育大会、桜高祭、球技大会等で生徒が主体的に活動する体験を積ませる。

(5)	その他 生徒支援 研修旅行 重点5	目標	・ <u>生徒の健全な心身を育てる。</u> ・ 生徒の健康に関する自己管理能力を育成する。 ・ <u>2学年で実施する研修旅行を充実したものにする。</u>
		計画	・ 健康診断の結果に基づいて、事後指導を推進する。 ・ 支援を必要とされる生徒に対して、チーム支援会議を適時に開催し、該当生徒へのきめ細かい支援を行う。 ・ 保健だより等を通して、食事や睡眠等の生活習慣の乱れが健康へ及ぼす影響について発信する。 ・ 進路指導部と連携して県外研修の事前指導・事後指導を効果的に行う。
	総 務	目標	・ PTA 活動等を通じて保護者との連携を図る。
		計画	・ さわやか運動に参加してもらう。 ・ 体育大会等の学校行事に保護者が参観しやすいように配慮する。
	図 書	目標	・ 読書を通して生徒が多様な分野に興味をもてるようにする。 ・ 生徒図書委員会活動の充実を図り、図書館活動を活性化する。
		計画	・ 1・2年生の各クラスでミニビブリオバトルを実施し、読書への意欲を喚起する。 ・ 朝読書、総合的な探究の時間の読書指導で読書習慣を涵養する。 ・ 広報活動を充実させ、生徒の読書に対する興味関心を高め、図書館利用を促進する。
	土木科	目標	・ 資格取得の充実を図る。特に測量士補試験（2年次）、2級土木施工管理技術検定（3年次）で、ともに90%以上の合格を目指す。
		計画	・ 1年次の10月より週2回の放課後補習、2年次の4月より朝と7限以降の補講を毎日実施する。3年次は、課題研究の中で取り組む。放課後に6～7回の模擬試験を実施する。
	生活環境科	目標	・ 家庭科技術検定の各種試験で90%以上の合格を目指す。 ・ 専門教科の学習と多様な活動を通しての体験を積み重ね、将来スペシャリストとして活躍するための基礎を身に付ける。
		計画	・ 朝学習及び休日等の課題学習及び土曜補講を通して、各種検定の指導を行う。 ・ 施設訪問実習や家庭クラブ活動を通して体験的な学習を行う。 ・ 専門技術者による講習等の機会を設ける。